



作家
元国際線乗務員
黒木安馬

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、株日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に「成「幸」学」（講談社）、「あなたの人格以上は売れない!」（プレジデント社）、「出過ぎる杭は打ちにくい!」（サンマーク出版）、「面白くなくちゃ人生じゃない!」（ロングセラーズ）、「リセット人生・再起動マニュアル」（ワニブックス）、「小説・球磨川」（上下巻・ワニブックス）などがある。
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.3percent-club.com

21世紀だ！ —— 人生・農業リセット再出発 146

飲食店開業、最高のお客は!?

飲食店が欲しいものは？ お腹をすかせたお客！ 空腹は最高のごちそう。砂漠で水を売るのは商売の原則。「食」の文字は「人」に「良」と書く。聖徳太子の17条憲法の第16は、「春より秋に至るまでは農桑の節なり、民を使うべからず」と、農繁期には使役せず、食の確保を最優先させることとしている。古今東西、飢餓との戦いは民族興亡の基本である。

世界の4大作物である麦・コメ・トウモロコシ・ジャガイモ。

マッカーサー元帥といえばトウモロコシの芯で作ったコーンパイプである。トウは中国の唐、モロコシは唐土^{モロこし}。日本へは1579年、秀吉の時代にポルトガル人が伝えた。7000年前からアステカ・マヤ文明を支えた主食を1492年にコロンブスがヨーロッパに持ち帰る。異なる品種同士を交配するとその子孫の生育が非常に盛んになる雑種強勢で急速に世界中に多品種が広まる。最近では家畜の飼料用が64%、コーンスターチ工業用が32%、食用はわずか4%であり、アメリカのバイオマスエタノールの需要増大で価格が急騰、世界食料価格危機を引き起こした。

ジャガイモは南米インカで主食として栽培され、雪山で凍結させては踏みつける過程で水分や毒を抜いた乾燥保存食チューニョがある。1570年ごろ、侵略したスペインの兵隊が本国に持ち帰る船内で芽が出たものを食べてソラニン中毒に遭い、聖書にも載っていない「悪魔の植物」と恐れられて観賞用とされた。ルイ16世は王妃マリー・アントワネットにジャガイモの花を飾って夜会に出席したとある。後にヨーロッパで数百万人が餓死した大凶作では食用として見直され、ドイツのフリードリヒ大王は自ら民衆の前で食べてみせ、主食として定着させた。寒

冷地ややせた土壌で栽培可能、イモは地中に育つから戦争にも影響されない食料として爆発的に普及する。18世紀にはアメリカへ渡り、独立戦争で兵士の食料源となる。日本伝来は信長のころ。南の海からやってきた野蛮人“南蛮”、インドネシア・ジャカルタ（当時のジャガタラ）を貿易拠点としたオランダ人が伝え、ジャガタライモがなまってジャガイモとなる。

同じくスペインが南米から持ち帰ったのがサツマイモである。わが国では200年後の1705年に琉球から持ち込んだ“唐イモ”が薩摩藩で栽培されたのが始まり。享保の大飢饉でそのイモが重宝され、薩摩からきた薩摩芋と呼ばれる。将軍徳川吉宗がそれを全国に広めようと青木昆陽に九十九里浜の不動堂で試験栽培をさせた。今日では豚肉ブランド「かごしま白黒豚」の定義ですら、飼料には20%のサツマイモを与える義務が付けられる世の中になった。

ポルトガル人宣教師が持ち込んだトウガラシは、秀吉の朝鮮遠征で初めて半島に伝えられた。1654年に明から帰化した隠元禅師が伝えたインゲン豆、ピーマン、シシトウ、ズッキーニ、落花生、イチゴ、ヒマワリ、外見がパイン（松の木）に似ていて味はアップルのパイナップル、アセロラ、カカオ、アボカド、グアバ、花の形が十字架にはりつけにされたキリストを思わせる受難を意味するパッションからきたパッションフルーツなど、コロンブスが梅毒と一緒に持ち帰った煙草も含め、人類の食を支えているほとんどの起源が南米原産だったことに驚く。トマトもカボチャもそうである。

「無理に売るな、客の好むものも売るな、客のためになるものを売れ」（松下幸之助）